

# 第1回摂津市総合計画審議会 議事録

日時：平成21年10月1日（木）10：00～12：00

場所：摂津市役所 7階 講堂

## 議事次第

1. 委嘱式
2. 市長あいさつ
3. 会長・副会長の互選
4. 議事
  - (1) 次期摂津市総合計画策定方針及びスケジュール等について
  - (2) これまでの基礎調査結果の報告
  - (3) 摂津市まちづくり市民会議からの提言の報告
  - (4) 意見交換
5. その他

### 1. 委嘱式

森山市長から審議会各委員に委嘱状が授与。

### 2. 市長あいさつ（森山市長）

本日はこの上ない秋晴れに見舞われました。そんな中、第1回目の摂津市総合計画審議会にご出席賜りましてありがとうございます。また、日頃皆様には様々な分野で摂津のまちづくりにいろいろとお力いただいておりますこと、お礼申し上げます。

国では衆議院選挙があり、摂津市では市議会議員選挙がありました。景気対策、新型インフルエンザ等々課題が山積しています。そうした中、新しい国づくり、まちづくりがまたスタートします。

特に国では新政権となり、今日までのあり方を見直そうと急ピッチな改革が行われています。大阪府においても、様々な改革が進行しており、我々基礎自治体もじっとしてはいられません。

摂津市は、今年で市政43年目を迎え、また、第4次総合計画の策定の時期も迎えました。これまで総合計画のもとで一つひとつまちづくりが進めてられてきました。この43年間を振り返って、今後あるべき姿をしっかりと方向づけることが今ある者の役割、責任です。

世の中はめまぐるしく動いており、また、市民の思い、ニーズも非常に複雑・多様化しています。そうした中、いかにしっかりと総合計画を策定するか、非常に難しい課題ではありますが、皆様方のお力で中身の濃い計画をつくっていただきたいと思っています。

そして、市民の声、職員の提案をより多く取り上げるため、初めてまちづくり市民会議を開催し、また、職員一人ひとりもこの総合計画づくりに総がかりで対応しています。

今後の審議会において、いろいろとご審議賜るかと思いますが、活発な議論の中、より

良き相互理解とご判断を賜りますよう、よろしく申し上げます。ありがとうございました。

### 3. 会長・副会長の互選

#### 事務局

摂津市総合計画審議会規則第5条に基づき、会長および副会長の選出を行う。立候補される方がいれば、挙手をお願いしたい。

#### 榎谷委員（摂津市まちづくり市民会議リーダー）

初めて顔を合わされた方も多いと思うので、事務局で腹案があれば、紹介いただきたい。

#### 委員一同

異議なし。

#### 事務局

会長は近畿大学教授の久隆浩様、副会長は人と防災未来センター主任研究員の紅谷昇平様にお願いしたい。あわせて、4回目から開かれる部会では、久様、紅谷様、そして、大阪人間科学大学教授の杉本久未子様、関西大学特任教授の竹内啓三様に4つの部会それぞれの部会長をお願いしたい。以上を事務局からの提案とさせていただきたい。

#### 委員一同

異議なし。

#### 事務局

それでは、会長は久隆浩様に、副会長は紅谷昇平様に決定し、ここからの議事進行は、会長・副会長にお願いする。

### 4. 議事

#### 久会長（近畿大学教授）

最初に一言あいさつを申し上げる。千里丘小学校、摂津一中を卒業しているので、摂津市は私にとって非常にゆかりがあり、摂津市に育てていただいたという思いがある。私の妻も三宅小学校、摂津三中の出身であり、夫婦そろって摂津市に育てていただいたと言え、ゆかりの深いところで計画づくりをさせていただけると思っている。そういう意味では出身地の総合計画ということで力の入りようも違うかなと思う。

今、大きな時代の転換期であり、それをどう受け止め、今後のまちづくり、総合計画に生かしていくかが問われている。様々な点で協力をお願いしたい。

さらに、総合計画の作り方自体も市民会議から本審議会に提案するという新しい形だけではなく、内容や構成自体も、問い直す必要があるのかなと思っている。例えば、今お手元の資料番号2にある現計画の「未来をひらく“高感”都市…」というキャッチフレーズが本当に必要かどうか、考えてみる時代に入ってきているのではないかなと思う。

そういう意味では、以前あったから今回もではなく、本当にこれからの10年間そして将来を考えた時に、必要か否か皆さんと意見交換させていただき、新しい時代にふさわしい総合計画をつくらせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

#### 紅谷副会長（人と防災未来センター主任研究員）

私は社会人になってから、摂津と吹田の境目の吹田市側に住んでおり、吹田市の操車場の仕事をした際に、摂津市の職員と仕事をさせていただき、今回再び摂津市の仕事をさせていただくということでやりがいを感じている。

今回、市民会議という非常にユニークなことをされたというのも、コンパクトな摂津市ならではの特徴なのではないかなと思う。提言書の中身を拝見すると、防災や経済、産業の問題などが書かれていないので、そうしたところは審議会で議論したいと思う。

未だ解決されていない問題として行政の縦割りがあがるが、中心市街地に関する問題を見ていくなかで、様々な分野において互いの部署が関連していることが分かった。しかし、行政内というのはどうしても縦割りというのがある。そうした縦割りの部分を越えて、市全体がどうあればいいのかというのを考えられる、貴重な場がこの審議会であり、市民、行政がそれぞれの垣根を越えて、できるだけ横断的に、全体がどうなればよいか、話し合えればよいなと思っている。よろしくお願いいたします。

#### 事務局

議事を進める前に、皆様に審議会の情報公開について了解をいただきたいことがある。

まず、会議の公開についてである。傍聴を希望される方には傍聴していただき、会議の議事録はHP上で公開するなど会議は原則、公開となっている。

また、議事録については、発言者の名前も記載させていただきたいと考えている。当然のことながら、公開する前に皆様に確認いただく。

さらに、本日、審議会の様子を写真に撮っているが、これについても今後、HPや広報紙に掲載させていただきたいと考えている。

以上の3点について皆様にご了解いただきたい。

#### 委員一同

異議なし。

#### 久会長

それでは次第に基づいて話を進めていく。

- (1) 次期摂津市総合計画策定方針及びスケジュール等について
- (2) これまでの基礎調査結果の報告
- (3) 摂津市まちづくり市民会議からの提言の報告

#### 久会長

まず、次期摂津市総合計画の策定方針及びスケジュールについて説明をお願いします。

## 事務局

(事務局より資料2、資料3、資料4の説明)

### (4) 意見交換

#### 久会長

今回は初めての会議であるので、皆様方がどういう思いでこの審議会にお集まりいただいているのか情報共有が必要だと思う。総合計画に対する思いを一言ずついただきたい。

#### 杉本委員（大阪人間科学大学教授）

大阪人間科学大学創立以来、摂津市に貢献できる活動がしたいと思い、様々なワークショップ等に参加している。昨年までは、できる限り学生も参加し、地域の環境向上やアートなどの活動に携わってきた。大学としてどこまでできるかわからないが、できるだけ多くの人たちの意見を計画に反映できるようにしていきたいと思っている。

特に市民の方が底力をお持ちであることも知っているのも、その方たちの意見を活用したい。一方でまちづくりに無関心な方もたくさんいるので、そういう方々の意見を少しでも掘り起こしていければと思っている。

#### 竹内委員（関西大学特任教授）

3月末まで大阪府の教育委員会にいたこともあり、これまで大阪府の教育をどうしていくかについて議論していた。子どもたちの教育をどうしていくか、また、まちづくりは人づくりという考えを私自身は持っている。厳しい社会情勢の中で子どもたちを育てていくことが、未来をつくることにつながると思う。

まちづくりは人づくりという観点から、子どもたちの明るい未来が摂津市の未来につながるように計画づくりが進められればよいなと思っている。

#### 石川委員（摂津市人権協会会長）

摂津市では人間基礎教育を市政の柱として進められているが、人間関係が非常に希薄となっている今日、人間基礎教育をいかに進めていくかを考え、そこから地域福祉力や、社会教育力を高めていかなければならないと思う。

もう一つ、超少子高齢化社会にある中で、増加する団塊の世代にどういった生きがいがあるまちづくり、安心なまちづくりを進めていくかということも検討できればと思う。

#### 和泉委員（摂津市商工会会長）

摂津市内には約4,000の事業所があり、従業員は約4.8万人である。そうした観点から、企業のあり方、企業と市民の関わり方を考え、市内の商工業の振興・発展と市民の皆さんとの共生、特に高齢化社会の進行と地域における商店街の減少という現状を踏まえ、今後、商店街と高齢化社会のネットワークをどのように形成していくか考えていきたいと思う。

また、子どもたちを取り巻く環境についても考えていかなければならないと思う。このような観点から企業市民という立場で参画させていただければと思っている。

#### 井関委員（摂津市農業委員会会長）

現在、時代の流れもあり農地がだんだんと減っている。そうした環境の下で農地をどのようにして守っていけばいいか皆様と考えていければいいなと思っている。

#### 梶村委員（摂津市社会福祉協議会会長）

私はこれまで福祉という幅の広い、奥の深い分野に携わってきた。審議会の委員として総合計画の策定に携わるにあたり、子育てなどの分野も含めて様々な福祉分野に携わっていければと思っている。

#### 川西委員（摂津青年会議所理事長）

20代、30代という若い世代が斬新な発想を持って、このまちをよくしていきたいと考えている。

また、魅力のあるまちづくりを進めている他市の動きなども積極的に取り入れながら、いかにこのまちが魅力あるまちなのかを考え、そして、この会議を通じて、若者の新しい発想で摂津市が注目されるようなまちづくりを進めていきたいと思っている。

#### 中原委員（摂津市まちを美しくする運動連絡協議会会長）

現在、まちの中を見渡すと、ポイ捨てや犬の糞が多く、このマナーの悪さが何とかならないかということ常々考えている。また、最近外で遊ぶ子どもを見るものの、道路で遊んでいたりするなど子どもの遊び場がないように思うので、公園や緑など子どもが遊べる環境を増やすことを考えていければいいなと思っている。

#### 久間委員（摂津市体育協会副会長）

狭い摂津市において、既存の体育施設は隣接する他市に較べて非常に脆弱である。しかし、少ない施設の中で各連盟の役員の方々が日々がんばっておられ、全国的にも戦えるチームも随分ある。ご存知のように淀川河川敷にスポーツ施設がある。摂津市域にありながら、国のものであるため、なかなか市民が使えない状況である。市民の方に開放していただけるよう審議会の中で検討できればと思っている。

また、私自身23年間少年サッカーに携わっている経験から、子どもたちの健全な育成にも携われたらと考えている。

#### 樋下委員（摂津市消防団副団長）

昔のことを思えば摂津市はモノレールもでき、大変便利になったと思うが、JR千里丘への交通の便はいまだ不便だと日々感じる。今後は委員として摂津市のためにいろいろと携われたらと思う。

#### 藤本委員（摂津市公立小中学校校長会＜摂津小学校校長＞）

私自身も子どもも摂津市で育ったので摂津市には非常に愛着がある反面、他市に勤めたことも住んだこともあるので、他市に住んでいる人に対して、摂津市に住んでいることを

誇れるような市にしたいと思っている。人口も少なく、周りを大きな市に囲まれているので、全国的な認識として摂津市は江戸時代の“摂津”ではあるが、市としてのイメージはまだまだ低いように思う。

教育の立場から様々な資料を読むと、データでは、摂津市の教育が市民のイメージの中でしんどいと感じられている。しかし、現場にいる人間としては子ども・教員の能力が劣っているとは思わない。教育の立場、市民・住民の立場として少しでも明るい摂津市をつくるために貢献できたらと思っている。

#### **古谷委員（摂津市PTA協議会市P担当）**

PTAの代表ということもあり、親の目線で子どもたちの教育、毎日の安全に役立つような意見を発表させていただきたいと思う。

#### **水口委員（摂津市ネットワーク・チャオ）**

私は、男女共同参画を基本理念として様々な活動している団体が集まる「摂津市ネットワーク・チャオ」の一員である。ネットワークの中には環境部会と福祉部会があり、様々な場面で摂津市をより良くしようと活動してきたので、審議会でも摂津市のためにがんばっていききたいと思っている。

#### **三宅委員（摂津市自治連合会副会長）**

先日、摂津市から自治連合会に「摂津市総合計画策定にかかる自治会アンケート」を実施するという説明があった。このアンケートに対する回答を踏まえていると提案をし、深く議論をしていきたいと考えている。

#### **八木委員（摂津市老人クラブ連合会副会長）**

摂津市は私が昭和17年に引っ越してきた頃、非常に空気のよい田んぼの真ん中にあるような環境のよい街であったが、いつの間にか自分が齢を重ねると同じように次々とマンション・工場が立ち発展してきた。しかし、吹田と茨木に挟まれ小さなまちになってしまった。小学校区もいくつか統合されてしまった。また、地図を見ても千里丘という名前が載っていないことが多い。

私の子どもは会長と同年代で、現在商社の人間として海外で勤務しているが、機会があればこうした場で話をさせるのもいいのではないかとと思っている。新聞やテレビなど狭い範囲内で集められた情報に囚われず、実際に働いている人間から聞く生の声をアイデアとしていくことも一つの起爆剤になるのではないかと考えている。

持てる力を十分に出し切って、私にとって第二の故郷である摂津市のために骨を埋めたいと考えている。

#### **山中委員（摂津市身体障害者福祉協会会長）**

前政権では身体・精神・知的障害者、いわゆる3障害者のために自立支援法ができたが、悪評であり我々の全国大会で折衝を重ねた上で改正案が出された。しかし、解散のため廃

案となってしまった経緯もあり、障害者の問題に関して検討できればと思っている。

社会情勢の変化が著しい中で、今後10年間の地域のために一緒に総合計画策定に携わっていければと思う。

#### **榎谷委員（摂津市まちづくり市民会議リーダー）**

市民が主体のまちづくりをどのようにすすめていくか考える際、これまでの市民活動は行政に要求をすることで成立していたが、それは市民が主権者でありながらサービスの提供を受ける側に常にいたということを表しているのだと思う。

しかし、これからのまちづくりでは市民と行政が力を合わせて1つの課題を解決していくことが大切だと思っている。こうしたことに公務員も市民も慣れていないが、まちのつくり方を一緒に考えることが総合計画策定の前段として考えるべき共通認識であり、私たちは摂津市まちづくり市民会議提言書において「まち育て」というフレーズを提案させていただいている。

まちを育てるとするのは、まちの歴史的遺産、生き物でいえば遺伝子を大事にしながらまちを育てていくという意味と、まちと一緒に人も育っていこうという思いがあり、そのような関係をこの会議で考えていければと思っている。

#### **宮田委員（摂津市まちづくり市民会議リーダー）**

摂津市で生まれ育ち、団塊の世代を迎えた私にとって、ふるさとである摂津市に何ができるか考えた結果、市民会議に参加することとなった。

本当に住みよい、市民の目線で考えるまちづくりをどのように進めればよいのか、いろいろな分野について考える機会があることを大切に、市民の生の声を反映したまちづくりに参画していきたいと思う。

#### **長尾委員（摂津市まちづくり市民会議サブリーダー）**

毎朝、新聞を読む際に北摂版の面を第一に見るが摂津市が載ることは少ない。ピカッと光るものが何かつくれるようがんばっていききたいと思う。

#### **服部委員（摂津市まちづくり市民会議サブリーダー）**

私は40年間農村を歩き、農村の生活改善やまちおこしなどに携わり、退職後は障害者問題に携わらせていただいている。

市民会議に参加し、市民参加ではなく、市民主体でなければいけないと思っている。摂津市は小さなまちなので、本当に市民が主体となって、ふるさとと思える人が育つようなまちにしていきたいと思う。

#### **平尾委員（公募市民）**

いつも自転車で移動しているが、歩道の整備やバス路線網の充実など住民からの要望は多い。しかし、なかなか実現に至っていない。

政権も変わり、今まで実現できなかったことが実現できる様相を見せている。同じよう

に、摂津市がもっとよいまちになればと思っている。

#### 福井委員（公募市民）

摂津市に住んで50年になるが、その頃とまちの様子は大きく変わっている。摂津のまちは歩くのが危ない、緑が少ないと日ごろから感じている。こうしたまちをより住みよいまちにできればと思っている。

#### 久会長

皆様から参加ではなく主体でなければならぬという意見があったが、私もそのとおりだと思っている。摂津市のデータをすぐに茨木市や吹田市と比較したが、環境のせいで市民が自分たちの手でまちをよくしていくという思いを総合計画にも描いていければと思う。

また、先日他市で「お金がないから夢が描けない」という話があったが、夢はお金ではなく自分たちの思いで実現していくものだと思っている。自分たちのまちを自分たちの手で動かせる社会にしていかなければならないと思っている。

最後に何人かの方からいろいろな資料を持参するという話もあったが、皆様には様々なご経験もあるので、ご自身の経験から自分たちの立場を位置づけていただくことの方が重要である。長丁場となるが今後ともご協力よろしくお願いします。

#### 5. その他

事務局より第2回審議会日程について説明。

第2回摂津市総合計画審議会は11月16日（月）午後2時より開催する。

以上